

第 15 回

エコアクション21

環境経営レポート

取組期間（2023年 6 月～2024年 5 月）



認証番号0007091

2024年 9月 1日 発行

有限会社 奥野工務店

1. 事業の概要

1) 事業所名及び代表者名
有限会社 奥野工務店 代表取締役 奥野一美

2) 所在地
〒773-0025
徳島県小松島市和田島町字浜田1-50

3) 連絡先
TEL : 0885-38-2090
FAX : 0885-38-2089
E-mail : okuno-2095@orange.plala.or.jp

4) 環境管理責任者
奥野 千代美

5) 事業内容
* 徳島県内を中心に、土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業
舗装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業、解体工事業を行っています。

許可番号 徳島県知事(般-30)第5143号
許可年月日 平成30年6月25日
許可番号 徳島県知事(般-05)第5143号
許可年月日 令和5年6月25日

官公庁・民間発注工事の請負を中心に、施工等の請負を本業としています。
土木工事では、道路・造成・護岸・水道等の新設、改良工事等。
建築工事では、公共施設・個人住宅の新設工事、改修工事等。

* 収集運搬業許可(自社の排出物のみ運搬)
許可番号 3600077339
許可年月日 令和3年5月28日

6) 事業の規模

エコアクション 取り組み		第12回	第13回	第14回	第15回
従業員	人	6	6	6	6
本社床面積	m ²	45	45	45	45
加工場延べ面積	m ²	600	600	600	600
売上高	百万円	78	100	73	105
工事件数	件 数	34	22	40	20

※第15回工事件数には雑工事30件を含まない

7) 事業年度 第15回 (2023年6月1日～2024年5月31日)

2. 認証・登録の対象範囲

有限会社 奥野工務店
対象事業場 本社
全組織及び全活動及びその全従業員を対象とし、全社的に取り組む

3 環境経営方針

＜基本理念＞

有限会社 奥野工務店は、ますます深刻化する地球温暖化への対応や、有限である資源の有効利用が人類共通の重要課題だと考えています。

当社の事業活動における環境負荷の低減に努め、全従業員一丸となり、自主的・積極的に環境への取組を進めてまいります。

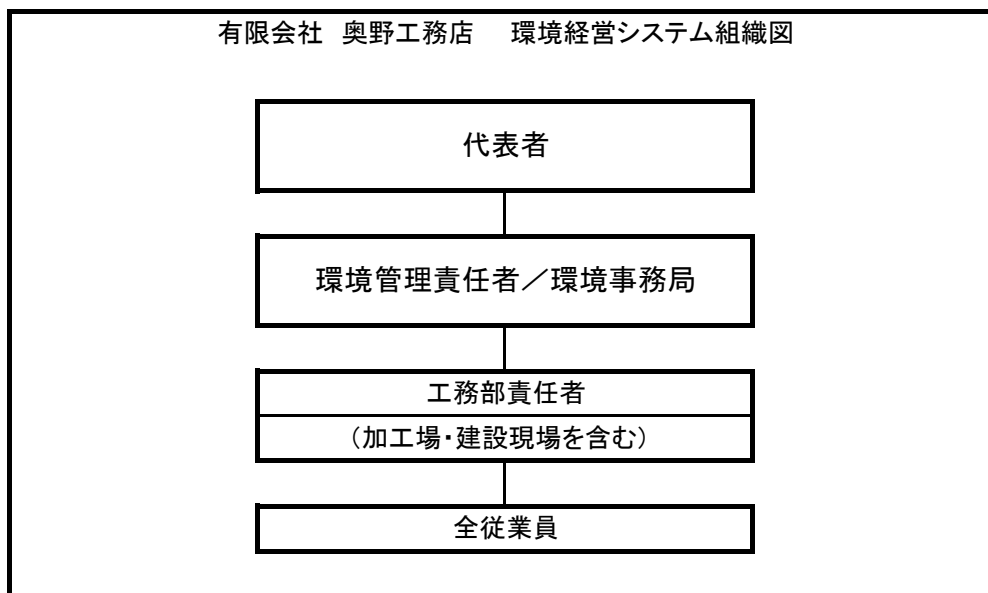
＜環境保全への行動指針＞

1. 具体的に次のことに取り組みます。
 - ・二酸化炭素排出量(電力使用量、ガソリン、LPG、軽油燃料等)の削減
 - ・廃棄物の減量、再使用、再生利用の推進
(建設廃棄物のリサイクル、現場工事での環境負荷低減活動の推進)
 - ・水資源使用量の削減
 - ・環境に配慮した建築・土木の施工活動の提案
2. 事務所周辺での清掃・ボランティア活動など社会貢献活動に参加します。
3. 当社の建設事業活動に関わる環境関連法規制や徳島県の条例、小松島市の条例等を遵守します。
4. 一人一人が環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、この環境経営方針を全従業員に周知いたします。
5. これらについて環境経営目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、環境経営の継続的改善、又環境配慮の推進に努めます。

制定日 2009年10月25日 改定日 2019年6月1日

有限会社 奥野工務店
代表取締役 奥野 一美

6. 実施体制



	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な資源(人・設備・費用等)の準備 ・環境方針の策定、見直し及び全従業員への周知 ・環境目標・環境経営計画書・環境経営レポートを承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示の実施
環境管理責任者	・環境経営システムを構築、実施、管理 ・環境目標・環境経営計画書の承認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告
環境事務局	・環境管理責任者、EA21推進会議の事務局 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境目標・環境経営計画書、環境関連法規等チェックリストの作成 ・環境目標・環境経営計画の実績集計、環境経営レポートの作成
工務部責任者	・部門における環境経営システムの実施 ・部門における環境経営方針の周知 ・部門に関連する環境経営目標及び環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の運用管理 ・部門の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	・環境経営方針の理解と、環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加
協力業者	・環境への取組の協力を要請

4 環境経営目標

1) 基準値と3年間の目標値

環境目標

※二酸化炭素排出係数は調整後排出係数 0.532kg-CO₂/kWhです。

項 目	単 位	2022年	2023年	2024年	2025年
		(基準年度)	(目標)	(目標)	(目標)
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	19,981	19,781	19,581	19,382
電力使用量	kWh	4,370	4,326	4,283	4,239
ガソリン	ℓ	5,152	5,100	5,049	4,997
軽油	ℓ	2,060	2,039	2,019	1,998
LPG	Kg	130	129	127	126
水使用量	t / 年	465	460	456	451
一般廃棄物	kg / 年	291	288	285	282
産業廃棄物	kg / 年	32,420	32,096	31,772	31,447
環境配慮の資材使用・施工・製品購入の推進	%	100	100	100	100
環境への取組(清掃活動)	回 / 年	3	3	3	3

※ 化学物質の使用はありません。

5. 環境経営計画

事務所

重要テーマ	具体的項目	責任者
【環境経営目標】	①二酸化炭素排出量の削減 ②水資源使用量の削減 ③廃棄物の減量 ④環境への取組(清掃活動)	事務責任者
【環境経営計画】 ①二酸化炭素排出量の削減	・クールビズ、ウォームビズを励行 ・自動車燃料の削減(近距離の自転車使用) ・不要時の消灯 休憩時の消灯 ・年代の古い電気製品をエコ家電に買い替え	事務責任者
②水資源使用量の削減	・こまめな止水 ・水道配管からの水漏れを定期的に点検する	事務責任者
③廃棄物(一般廃棄物)の減量	・ミスコピーの削減 ・不要になったサンプル、カタログ等協力会社に返却を促す	事務責任者
④環境への取組(清掃活動)	・地域の清掃等美化活動を行う	現場責任者

現場

重要テーマ	具体的項目	責任者
【環境経営目標】	①二酸化炭素排出量の削減 ②水資源使用量の削減 ③廃棄物の減量 ④環境配慮の推進 ⑤環境への取組(清掃活動)	現場責任者
【環境経営計画】 ①二酸化炭素排出量の削減	・エコドライブの励行 ・適正な車両整備 ・自動車燃料の削減 ・古い電気製品をエコ製品に買い替え	現場責任者
②水資源使用量の削減	・こまめな止水 ・水道配管からの水漏れを定期的に点検する	現場責任者
③廃棄物(産業廃棄物)の減量	・廃棄物の分別を徹底する ・再生利用廃棄物業者への委託	現場責任者
④環境配慮の資材の使用	・環境配慮の資材使用・施工・製品購入の推進	現場責任者
⑤環境への取組(清掃活動)	・地域の清掃等美化活動を行う	現場責任者

7.環境経営目標の実績・評価

※電力の二酸化炭素排出係数は、調整後排出係数 0.532kg-CO₂/kwhです。

2023年度環境経営目標

項 目	単 位	目 標	実 績	達成率(%)	評価
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	19,781	21,024	94	△
電力使用量	kWh	4,326	4,431	98	△
ガソリン	ℓ	5,100	4,827	106	○
軽油	ℓ	2,039	2,763	74	×
LPG	Kg	129	114	113	○
水使用量	t / 年	460	466	99	△
一般廃棄物	kg / 年	288	170	169	○
産業廃棄物	kg / 年	32,096	258,135	12	×
環境配慮の資材使用・施工・製品購入の推進	%	100	100	100	○
環境への取組(清掃活動)	回 / 年	3	3	100	○

※ 化学物質の使用はありません。

※ 達成率は 目標/実績(%)にて算出しました。

※ ○ 良 100% 以上 ※ △ 不十分 100%未満～90以上
 ※ × 出来ていない 90% 未満 ※ — 該当なし

軽油	工事現場が遠方だったため軽油の使用量が増えたが、決めた環境経営計画は実施できている。
産業廃棄物	工事内容により排出量が増えている。

8. 環境経営計画の実績・評価

事務所 2023年度(2023年6月1日～2024年5月31日)

重要テーマ	具体的項目	担当者	期間(2023年6月～2024年5月)				総合評価	取組結果と評価
			1Q	2Q	3Q	4Q		
【環境経営目標】	①二酸化炭素排出量の削減	環境管理 責任者	○	○	○	○	○	コロナも5類感染症に分類されたが、基本的感染対策は引き続き取り組んでいく。目標はほぼ達成出来ている。
	②水資源使用量の削減		○	○	○	○		
	③廃棄物の減量		○	○	○	○		
	④環境への取組(清掃活動)		○	○	○	○		
【環境経営計画】 ①二酸化炭素排出量の削減	・クールビズ、ウォームビズを励行	環境管理 責任者	○	○	○	○	○	使用電力は意識付けができつつも、近年暑さ寒さが身に染みて感じられる。
	・自動車燃料の削減(近距離の自転車使用)		○	○	○	○		
	・不要時の消灯 休憩時の消灯		○	○	○	○		
	・年代の古い家電製品をエコ家電に買い替え		-	-	-	-		
②水資源使用量の削減	・こまめな止水	環境管理 責任者	○	○	○	○	○	今後も一層の削減に取り組んでいきたい。
	・水道配管からの水漏れを定期的に点検する		○	○	○	○		
③廃棄物(一般廃棄物)の減量	・ミスコピーの削減	環境管理 責任者	○	○	○	○	○	事務所内では、一般廃棄物の量が削減できた。
	・不要になったサンプル、カタログ等協力会社に返却を促す		○	○	○	○		
④環境への取組(清掃活動)	・地域の清掃等美化活動を行う(年3回)	環境管理 責任者	○	○	○	○	○	次年度も活動に取り組む。

注：総合評価 ○:できている △:不十分 ×:出来ていない ー:該当なし ※ 全従業員が対象である

現場 2023年度(2023年6月1日～2024年5月31日)

重要テーマ	具体的項目	担当者	期間(2023年6月～2024年5月)				総合評価	取組結果と評価
			1Q	2Q	3Q	4Q		
【環境経営目標】	①二酸化炭素排出量の削減	工務部 責任者	○	○	○	○	○	工事内容によって、大幅に産業廃棄物の処分量が増えているが、最終処分も確実に 終わっているため問題はない。
	②水資源使用量の削減		○	○	○	○		
	③廃棄物の減量		○	○	○	○		
	④環境配慮の推進		○	○	○	○		
	⑤環境への取組(清掃活動)		○	○	○	○		
【環境経営計画】 ①二酸化炭素排出量の削減	・エコドライブの励行	工務部 責任者	○	○	○	○	○	各個人の取組意識も確信できるが、徳島市内や神山といった少し離れた現場であったため軽油燃料が増え達成率には届かなかったが、問題はない。
	・適正な車両整備		○	○	○	○		
	・自動車燃料の削減		○	○	○	○		
	・古い電気製品をエコ製品に買い替え		○	○	○	○		
②水資源使用量の削減	・こまめな止水	工務部 責任者	-	-	-	-	ー	使用することがなかった。
	・水道配管からの水漏れを定期的に点検する		-	-	-	-		
③廃棄物(産業廃棄物)の減量	・廃棄物の分別を徹底する	工務部 責任者	○	○	○	○	○	コンクリートガラが多く出る現場だったため減量にはほど遠い数字ではあるが仕事内容によることなので問題はない。
	・再生利用廃棄物業者への委託		○	○	○	○		
④環境配慮の資材の使用	・環境に配慮した資材の購入等取り入れる	工務部 責任者	○	○	○	○	○	購入できるものは継続していく。
⑤環境への取組(清掃活動)	・地域の清掃等美化活動を行う(年3回)	工務部 責任者	○	○	○	○	○	次年度も活動に取り組む。

注：総合評価 ○:できている △:不十分 ×:出来ていない ー:該当なし ※ 全従業員が対象である

9-2. 次年度の環境経営計画

事務所

重要テーマ	環境経営計画	責任者
【環境経営目標】	①二酸化炭素排出量の削減 ②水資源使用量の削減 ③廃棄物の減量 ④環境への取組(清掃活動)	事務責任者
【環境経営計画】 ①二酸化炭素排出量の削減	・クールビズ、ウォームビズを励行 ・自動車燃料の削減(近距離の自転車使用) ・不要時の消灯 休憩時の消灯 ・年代の古い電気製品をエコ家電に買い替え	事務責任者
②水資源使用量の削減	・こまめな止水 ・水道配管からの水漏れを定期的に点検する	事務責任者
③廃棄物(一般廃棄物)の減量	・ミスコピーの削減 ・不要になったサンプル、カタログ等協力会社に返却を促す	事務責任者
④環境への取組(清掃活動)	・地域の清掃等美化活動を行う	現場責任者

現場

重要テーマ	環境経営計画	責任者
【環境経営目標】	①二酸化炭素排出量の削減 ②水資源使用量の削減 ③廃棄物の減量 ④環境配慮の推進 ⑤環境への取組(清掃活動)	現場責任者
【環境経営計画】 ①二酸化炭素排出量の削減	・エコドライブの励行 ・適正な車両整備 ・自動車燃料の削減 ・古い電気製品をエコ製品に買い替え	現場責任者
②水資源使用量の削減	・こまめな止水 ・水道配管からの水漏れを定期的に点検する	現場責任者
③廃棄物(産業廃棄物)の減量	・廃棄物の分別を徹底する ・再生利用廃棄物業者への委託	現場責任者
④環境配慮の資材の使用	・環境配慮の資材使用・施工・製品購入の推進	現場責任者
⑤環境への取組(清掃活動)	・地域の清掃等美化活動を行う	現場責任者

10.環境関連法規の遵守状況並びに違反、訴訟等の有無

当社の1年間の主な環境関連法規の順守状況の確認及び評価は次のとおりです。

環境関連法規等の名称	主な内容	遵守状況の確認
廃棄物処理法	木くず・金属くず・廃プラスチック・繊維くず・ガラスくず マニフェストの交付・及び返送マニフェストの確認	確認不足
騒音規制法	バックホー 等	遵守
徳島県生活環境保全条例	空気圧縮機	遵守
小松島市公害防止条例	土壌の汚染、騒音、振動、地盤の沈下等の 防止に努める。	遵守
家電リサイクル法	テレビ・冷蔵庫・エアコン等	遵守
振動規制法	ブレーカー等	遵守
グリーン購入	事務用品・建材	遵守
浄化槽法	合併処理浄化槽	遵守
大気汚染防止法	石綿	遵守
建設リサイクル法	コンクリート塊・アスファルトガラ	遵守
徳島県南海トラフ巨大地震等に係わる 震災に強い社会づくり条例	防災・災害時の復旧支援活動として、 積極的に協力すると共に社員の安全確保に努める。	遵守

※環境関連法規制等の順守状況の結果、同順守状況に逸脱ありませんでした。
また、過去3年間に亘って監督官庁並びに近隣住民から、特に指摘はなく
違反や訴訟もありません。

11.代表者による評価と見直し・指示

実施日 2024年8月31日 奥野一美

見直しに必要な情報			変更の必要性の有無・指示事項
(環境管理責任者の報告)		(環境管理責任者のコメント・提案)	(代表者)
[取組状況の評価結果] ・ 法的要求事項の遵守状況 環境法令等は再確認しながら進めていく。 ・ 是正及び予防処置の状況 クレームなし ・ 前回までの指摘事項の改善化 指示に対して適切に改善し、正確に進めていく。		[環境経営方針] 環境経営方針は、全従業員の環境に対する意識改革を図る上で主眼の1つでもあるので、継続的に改善しつつ、環境リスクの低減に努めていく。	[環境経営方針] 事業活動の環境負荷の低減を推進するために計画・目標達成の更なる向上につなげたい。
			変更の必要性： 有 無
[目標の達成率]		[目 標] 特に目標数値との差が大きかった軽油の削減、産業廃棄物の削減についてはこれまで以上に積極的な取り組みが必要であるが、今回に関しては作業場所が遠方だったことや仕事内容により目標達成には至らなかった。	[環境経営目標・環境経営計画] 目標及び計画において継続的かつマンネリ化を防ぎ社員の取組が結果となって現れるように、目標や計画を定め、定期的に見直しを行い継続的な改善に努める。
目標項目	目標達成率(%)		変更の必要性： 有 無
二酸化炭素排出量	94%		
(電力の削減)	98%		
(ガソリンの削減)	106%		
(軽油の削減)	74%		
(L P Gの削減)	113%		
水使用量	99%		
一般廃棄物	169%		
産業廃棄物	12%		
環境配慮の資材の使用	100%		
環境への取組（清掃活動）	100%		
※ ○可 △不十分 ×できていない ― 該当なし		[システムの各要素] 二酸化炭素排出量の抑制につながる行動が日々出来るようこれからもエコアクションを通して取り組んでいきたい。	[実 施 体 制] 役割・責任・権限を有効に実施する。
			変更の必要性： 有 無
			[総 括] 社会的環境・天災・気候変動によって多くの問題が報告される昨今ではありますが、今後も改善しながら環境問題に取り組み、二酸化炭素排出量の削減を進めて参ります。 環境改善に関心を持ち続け、環境経営方針・環境経営目標及び実施体制は、今後も継続していきます。